

平成 22 年 3 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動や個人消費の一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢が低迷し、観光関連も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続いている。

生産活動は、電子部品関連が回復しつつあるも、食品関連が伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額は前年を下回ったが、乗用車新車販売台数が前年を上回った。投資関連では、公共工事が堅調に推移した一方、民間建築工事と住宅着工は依然として低水準。その間、観光入り込み客数は前年を上回ったものの、低調に推移した。

【生産活動】 ... 一部に持ち直し

電子部品関連は、回復しつつあるも、その動きは弱い。

2月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向け、民間工事向け出荷ともに前年を上回ったものの、低い水準にある。

2月の**紙パルプ**生産は、前年比 70.9% 増と 3 カ月連続で前年を上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産は伸び悩み、出荷は減少傾向が続いている。

かつお節生産は、前年を上回る水準で推移している。

【畜産関連】 ... 低調

肉用牛（和牛）の枝肉相場が低調に推移し、子牛価格は前年を下回っている。また、豚肉相場も低調に推移。ブロイラー相場はもも肉が堅調に推移するも、むね肉は低迷。一方、鶏卵相場は前年並みで推移している。

【消費関連】 ... 一部に持ち直し

1月の大型小売店（百貨店＋スーパー）販売は、衣料品、食料品ともに前年を下回り、全体では前年比9.8%減と9カ月連続で前年を下回った。

2月の乗用車新車販売台数は、エコカー減税や新車購入補助金の効果により、48.6%増と7カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車が124.2%増、小型車が14.8%増となった。一方、軽自動車は3.8%減と3カ月ぶりに前年を下回った。

【観光関連】 ... 低調

2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、前年比4.5%増と13カ月ぶりに前年を上回ったものの、水準は低い。企画商品・団体旅行の入り込み増に加え、韓国・台湾などからの外国人旅行客が増加したことが要因。また、種子島・屋久島地区は、企画商品・団体旅行の入り込みがあり、2カ月連続で前年を上回った。

2月の主要観光施設入場者数は、一部の施設で利用・入場者数が前年を上回った。

【投資関連】 ... 低調

2月の公共工事（西日本建設業保証調べ）は、件数がやや前年を下回ったものの、請負金額は大型工事の影響もあり、前年を上回った。

1月の民間建築工事は、床面積が前年を上回ったが、棟数と工事費予定額は前年を下回り、総じて低調。

1月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲いずれも増加し、全体で前年比18.1%増と2カ月連続で前年を上回ったものの、前年の反動部分が大きく水準としては低調。

2月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 低調

1月の輸出額は、タイヤ・チューブや半導体等電子部品などが前年を上回り、全体で前年比28.2%増と11カ月ぶりに前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品が減少となったが、原油及び粗油の増加により、全体で前年比55.3%増と3カ月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】 ... やや改善

1月の有効求人倍率は、前月を0.02ポイント上回る0.39倍となり、やや改善したものの、雇用情勢は厳しい状態が続いている。

【金融情勢】 ... 低調

資金需要は、運転資金が一服し、設備資金は弱含んでいる。

【企業倒産】 ... 前年を下回る

2月の企業倒産は、件数が2件と前年同月(13件)を下回り、負債額も4億55百万円と前年同月(10億52百万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所(099-225-7491)